

完了後の評価個表

整理番号	森7-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	高知県
ふりがな 地域(地区)名	いの町 <small>ちよう</small>	事業実施主体	いの町、森林整備公社、高知中央森林組合、森林所有者
関係市町村	いの町	管理主体	いの町、高知中央森林組合、森林所有者
事業実施期間	平成16年度～平成20年度(5年間)	完了後経過年数	6年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 いの町は平成16年10月に伊野町、吾北村、本川村の合併により誕生した町で、高知県の中央に位置し、石鎚山系瓶ヶ森山から東西に走る稜線と太平洋湾に注ぐ一級河川仁淀川に挟まれた山麓に開けた地域である。</p> <p>② 森林の状況 本地区の森林面積は42,259haで、総土地面積の90%を占めている。 その内訳は国有林12,459ha(29%)、民有林29,800ha(71%)で、民有林の総蓄積量は6,915千m3となっている。 民有林の人工林面積は20,376haで人工林率は68%となっており、優良な人工林が形成されている。このうち57%が生育途上の35年生以下の若齢林である。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区においてはこれまでに約20,000haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加している。 森林に対する適切な間伐等の実施が重要な課題であるが、林業生産活動の停滞に伴い間伐等が適正に実施されず、公益的機能が十分に発揮できない森林が存在するようになってきた。このため、従来の除・間伐を中心とした保育作業から、施業地の団地化及び高性能林業機械等の整備を行い搬出間伐を推進をすることとし、森林整備及び路網整備を実施したものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 184ha、下刈 1,120ha、除・間伐 3,362ha、受光伐 93ha 作業路5,909m</p> <p>森林管理道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>① カゲ野線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 1,513m</td> <td>利用区域面積 146 ha</td> </tr> <tr> <td>② 約束田線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 1,201m</td> <td>利用区域面積 377 ha</td> </tr> <tr> <td>③ 寺川秋切線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 1,416m</td> <td>利用区域面積 77 ha</td> </tr> <tr> <td>④ 中野川長又線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 870m</td> <td>利用区域面積 172 ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,931,913 千円 (当初総事業費 2,054,035 千円)</p>	① カゲ野線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,513m	利用区域面積 146 ha	② 約束田線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,201m	利用区域面積 377 ha	③ 寺川秋切線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,416m	利用区域面積 77 ha	④ 中野川長又線	車道幅員 4.0m	開設延長 870m	利用区域面積 172 ha
① カゲ野線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,513m	利用区域面積 146 ha														
② 約束田線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,201m	利用区域面積 377 ha														
③ 寺川秋切線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,416m	利用区域面積 77 ha														
④ 中野川長又線	車道幅員 4.0m	開設延長 870m	利用区域面積 172 ha														

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成27年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、木材価格等の単価低下により事業採択時にくらべ総便益等が減少した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>24,865,115千円</td> <td>(事業採択時 35,657,034千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>5,066,143千円</td> <td>(事業採択時 4,235,719千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.91</td> <td>(事業採択時 8.41)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	24,865,115千円	(事業採択時 35,657,034千円)	総費用 (C)	5,066,143千円	(事業採択時 4,235,719千円)	分析結果 (B/C)	4.91	(事業採択時 8.41)
総便益 (B)	24,865,115千円	(事業採択時 35,657,034千円)								
総費用 (C)	5,066,143千円	(事業採択時 4,235,719千円)								
分析結果 (B/C)	4.91	(事業採択時 8.41)								

② 事業効果の発現状況	<p>本事業で間伐等の森林整備を実施したことにより、水源涵養や山地保全等の公益的機能の維持増進が図られた。 また、林道の開設を実施したことにより、森林整備施業地までの到達時間の短縮や作業コストの縮減など森林整備経費の縮減が図られた。</p>
-------------	--

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備された森林は、森林所有者や森林組合により、継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。 また、本事業により開設された林道は、いの町が、草刈りや路面の整備を適切に実施しており、維持管理状況は良好である。</p>
---------------------	---

④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により、重視すべき機能(水土保全等)の区分に応じた良好な森林が形成されつつある。 また、路網整備により、森林整備施業地までの到達時間の短縮、作業コストの縮減等が図られるようになった。</p>
----------------	---

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>過疎高齢化の進行により、林業従事者の減少や、木材価格の低迷等林業経営を取り巻く情勢は厳しい状況にあるものの、高知県では法定外目的税として森林環境税を平成15年から導入し、保全政策を行っているほか、新規林業従事者を確保するための対策に取り組むなど、林業の復興を積極的に進めている。</p>
-------------	--

<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>公益的機能を長期にわたって発揮させるため、周辺の環境に配慮しつつ、事業計画に基づき、着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>また、今後の事業においてもコスト縮減の努力を行うことが必要である。</p> <p>一方、森林組合を中心に団地化のスケールメリットを活かした低コストの森林施業も進められている地域もあることから、森林所有者に対して団地化の事例を説明するなど、啓発活動を行い地域単位で積極的な森林施業を実施する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の意見（いの町） 森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるために、計画的な事業実施が必要である。年度により増減はあるが、森林整備及び林内路網の整備が着実に実施されると認識している。今後とも主伐・再造林・保育といった循環を加速化させ、森林の有する多面的機能はもとより、雇用の確保に向けた取組の推進を期待している。
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 水源涵養、国土の保全及び地球温暖化防止等の公益的機能の発揮に寄与するとともに、地元の製材工場の操業に向けた木材の安定供給に関する地域の要請に応えるための事業であったことから、事業の必要性は認められる。 ・ 効率性 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業により開設した林道を活用した施業団地が動き出すなど、森林整備実施箇所へのアクセス向上、コスト縮減が図られ、引き続き効果が発現されるものと見込まれることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 高知県

地域(地区)名: いの町

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,420,629	
	流域貯水便益	2,085,564	
	水質浄化便益	4,623,581	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,749,908	
	土砂崩壊防止便益	48,235	
環境保全便益	炭素固定便益	4,066,959	
木材精算等便益	木材生産経費縮減便益	4,899	
	木材利用増進便益	1,572	
	木材生産確保・増進便益	1,586,510	
森林整備経費縮減便益	造林作業経費縮減便益	2,566	
	森林管理等経費縮減便益	1,450	
	森林整備促進便益	1,273,242	
総 便 益 (B)		24,865,115	
総 費 用 (C)		5,066,143	
費用便益比	$B \div C = \frac{24,865,115}{5,066,143} = 4.91$		

森林環境保全整備事業 いの町(高知県) 概要図

